

擁壁の表面に露出しない

景観上優れた耐震補強工法

クララ工法 PAT.P

Culture Retaining Wall Reinforcement Method



施工前



施工後

施工



削孔



スライム回収



芯材挿入



グラウト注入

安全・安心と美観を両立する耐震補強技術で
文化財石垣・石積擁壁の保存に貢献

石積擁壁 耐震補強 対策工法

防災・減災×サステナブル大賞
2024

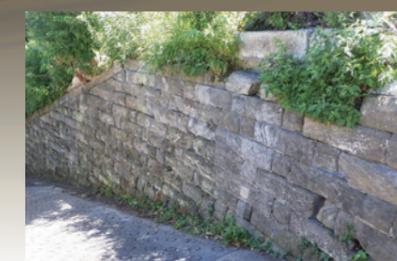
防災・減災×レジリエンス賞
〈カンパニー部門〉

優秀賞

国土交通省 新技術情報システム

新技術名称 バットレス型補強アンカー工法

NETIS
登録番号 CG-240016



【問合わせ先】

文化財石垣・石積擁壁補強技術協会

〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2 (岡部株式会社内)

TEL 03-3624-6201 FAX 03-3624-6215

<https://bunkazai-ishigaki.com/>



文化財石垣・石積擁壁補強技術協会

変状や孕みがみられる石積擁壁の景観を損なわず、
現状のまま耐震補強を行う。

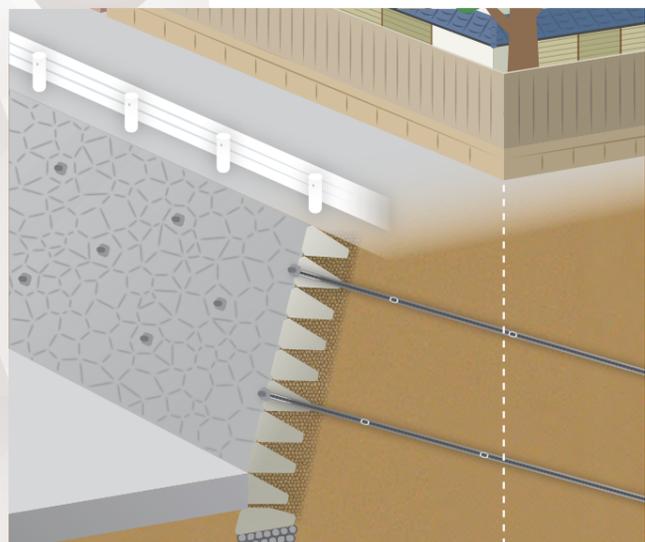
バットレスアンカーと柱状構造体を組み合わせた
耐震性の高い複合工法

バットレス型補強アンカー工法[®] PAT.P

Buttress Type Reinforcement Anchor Method

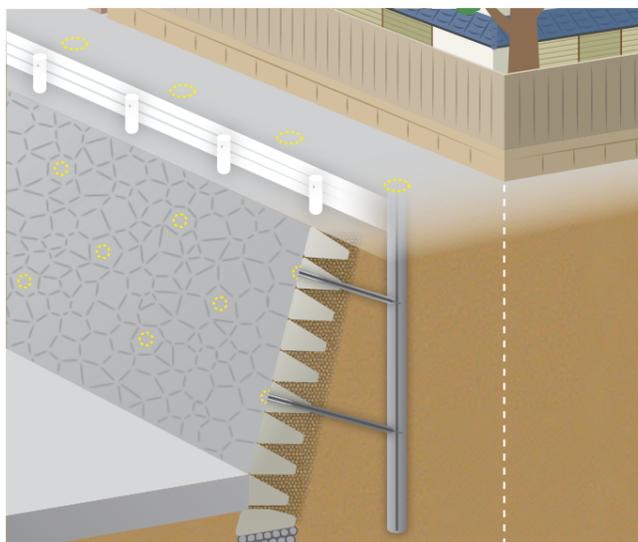
概要

一般的な補強工法(鉄筋挿入工)



補強材が長くなり、建物の基礎部や杭等への影響が懸念される

バットレス型補強アンカー工法



建物の基礎部や杭等に影響なく、
補強することができる

施工

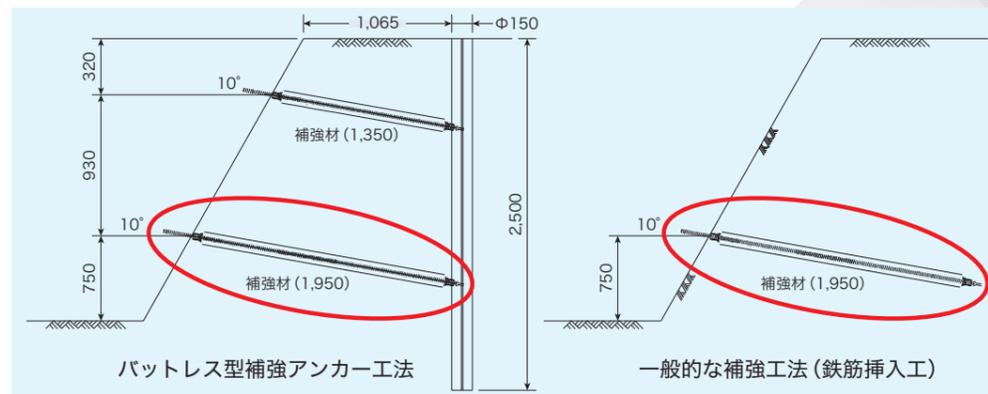


柱状構造体施工



バットレスアンカー施工

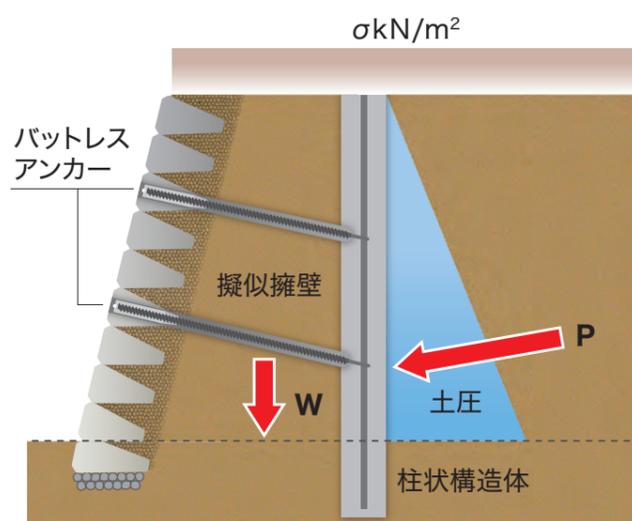
性能照査



引抜実験後



内部構造



引抜実験状況

